

◆ 入試問題の傾向と対策

学部・学科	科目	傾向と対策
現代教養学部 人文学科 国際社会学科 経済経営学科 心理学科 社会コミュニケーション学科	国 語	現代文と古文から出題する。現代文は、大きく分けて、二種類の問題を出す。一つは、長文を正確に読解し、論旨や理由などを的確に表現する能力を試す問題。もう一つは、短文や資料などを元に、日本語の運用能力を問う問題である。古文は、基礎的な知識を試すとともに、人間関係や心情を読みとり、それを表現する力を重視する。口語訳は、逐語訳を心がけられたい。いずれの問題でも、漢字書き取りを含め、表記を採点対象とするので、注意すること。
	英 語	英文読解の問題と正しく英語で表現できるかを問う問題が中心。文章の内容を正確に素早く把握できる力が要求される。文章の前後関係を理解し、文脈にあった的確な表現を選択する力も求められる。また、英語で説明をしたり意見を表現したりする力も求められる。文法知識、単語の知識なども重要。解答はマークシートおよび記述形式による。
	日本史	古代から近現代まで幅広い範囲で出題される。比較的近代の比重が高い。基本的な歴史用語を記述することを求める問題も少なくないので、しっかり書けるようにしておきたい。図や史料を使った問題も多いので、その点を意識して、教科書や高校の副読本でなじんでおくこと。また、日本と、他のアジア諸地域や欧米などとの関係についても問われるので、日本史教科書の範囲内で学習しておくこと。
	世界史	古代から近現代まで幅広い範囲で出題される。また、記述式解答を求める設問も出題されるので、人名・地名に限らず、歴史用語は正確に表記できるようにしておきたい。史料に関する問題も出題される。また、一国史だけでなく、地域的ひろがりについても問われるので、歴史地図・年表などを参考によく学習しておくこと。
	数 学	(1) 高校の教科書のレベルに準じた出題がなされる。教科書の基本的な問題が確実に解けるように勉強すること。 (2) 計算だけではなく、考え方や論証が、正確な文章で説明されている解答が望ましい。教科書の例題や、本学で配付している入試問題集の解答例を参考に、的確に説明する力を身につけておくこと。
現代教養学部 情報数理科学科	数学ア	(1) 高校の教科書のレベルに準じた出題がなされる。教科書の基本的な問題が確実に解けるように勉強すること。 (2) 計算だけではなく、考え方や論証が、正確な文章で説明されている解答が望ましい。教科書の例題や、本学で配付している入試問題集の解答例を参考に、的確に説明する力を身につけておくこと。 (3) 論理的な思考法を身につけるよう努力すること。解答に際しては、場合分けが必要かどうか、すべての解を尽くしているかどうか、等に注意を払うこと。
	数学イ	(1) 高校の教科書のレベルに準じた出題がなされる。教科書の基本的な問題が確実に解けるように勉強すること。 (2) 計算だけではなく、考え方や論証が、正確な文章で説明されている解答が望ましい。教科書の例題や、本学で配付している入試問題集の解答例を参考に、的確に説明する力を身につけておくこと。 (3) 論理的な思考法を身につけるよう努力すること。解答に際しては、場合分けが必要かどうか、すべての解を尽くしているかどうか、等に注意を払うこと。 (4) 微積分における計算力を磨いておくこと。平面図形、空間図形の把握力を鍛えておくこと。
	英 語	英文読解の問題が中心。文章の内容を正確に素早く把握できる力が要求される。文章の前後関係を理解し、文脈にあった的確な英語表現を選択する力も求められる。文法知識、単語の知識なども重要。解答はマークシートによる。
	物 理	高校の物理での2本の柱といえる力学と電磁気学に重点をおいている。きわめて初等的な問題から少し応用的な問題へと多くの小問に分けるよう工夫している。基本的な事柄をよく理解していれば解答できるはずである。また、ある程度の計算力は必要である。公式の丸暗記ではなく、基本から積み上げる学習を心がけてほしい。
	化 学	高校の教科書に準じた基礎的な内容が出題される。単なる暗記力を問うのではなく、基本的な理解とその応用力を試す問題とする。実験器具の取り扱いについて問うこともある。計算問題では、考え方の筋道が論理的に伝わるよう解答することが必要である。記述問題も含まれるので、化学の基本概念を文章で説明する力を養うことが望まれる。